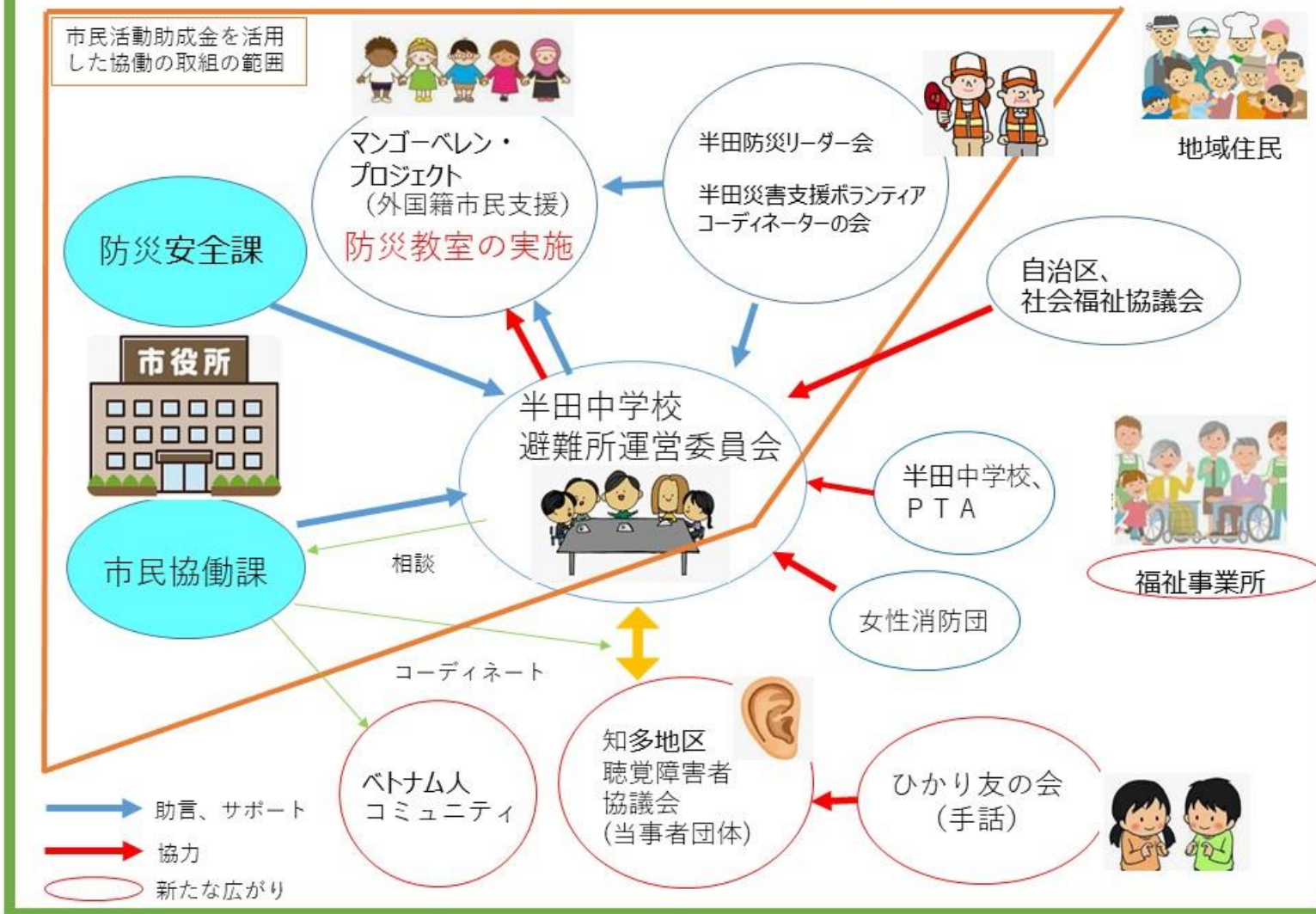


避難所運営訓練の参加者



協働の成果

当初の目的の達成に加え、避難訓練へ多様な主体が参加・協働したことによって得られたこと

①市民活動団体、市民、行政、それぞれが担当者の顔が分かり、今後とも声が掛け合えるつながりを作ることができた。

②避難所運営に多様な視点を持つことができ、防災弱者（外国籍市民）のための活動（防災教室）から、地域住民のための活動（避難所運営訓練）へと変化した。

③地域住民も、外国籍市民も、障がい者も、避難所では避難者であり、運営者（支援者）でもあることに気が付いた。